

「子どもの権利に関する施策実施状況調査」について

1 調査の目的

札幌市の各局区において実施している事業における、子どもの参加や子どもにわかりやすい情報発信など、子どもの視点に立った取組の実施状況や主な事例について調査し、その実践例などを庁内で共有することにより、条例の趣旨の浸透と今後の取組の推進を図るために実施。

2 調査の対象事業

子どもが参加した事業（337 事業）

子どもを対象にわかりやすい情報発信を行ったもの（103 事業）

財団や指定管理者等が実施した事業も調査の対象とした。

3 情報資料の作成

今後、各取組事例の内容を整理し、市政における子どもの参加等を促進するうえで参考となる具体的な工夫や手法などの情報を、実務に役立つ資料としてまとめる予定。

4 調査結果の概要

【様式 1】子どもが参加した事業の例（21 年度中の実施予定含む）

【様式 2】子どもにわかりやすい情報発信の例

5 調査での考え方

子ども
・18 歳未満（高校生を含む）を子どもとした。

参加の事例
・調査の対象として、「市政への参加」や「身近な地域のまちづくりへの参加」の事例のほかに、子どもの成長を支援する取組として「子どもの体験事業等への参加」の事例や、将来的に企画運営に関わる取組に発展する可能性があるという点も考慮して「一般観客としての参加」の事例も対象とした。

調査の対象外とした主な事例
・学校教育や保育園の運営など直接法令に基づき実施する事業。
・こどもの劇場やまびこ座での人形劇の上映など、主に子どもを利用対象とする集客施設の日常のプログラム等に類するもの。

様式1「子どもが参加した事業の主な例」の「種別」欄の標記

【企画や運営】

例) イベントの企画を子どもが中心となってい、職員がサポート役として支援した事例など

【準備・当日手伝い】

例) お祭りの当日にブースの作業を子どもが手伝った事例など

【参加者・発表者】

例) 体験事業の参加者や子どもによる報告会への参加の事例など

【子どもによる評価】

例) 体験事業の参加者に対して、感想や企画してほしいテーマなどについて事後アンケートを実施した事例など

【アンケート等】

例) 計画策定に際し、子どもを抽出し意識調査を実施した事例など

【意見募集用紙等】

例) パブリックコメントの実施に当たり、子ども向け資料を作成した事例など

【ワークショップ等】

例) 計画策定に当たり設置した市民会議に高校生が参加した事例など

【様式1】子どもが参加した事業の例

事業名	子どもの参加							担当局・区		
	種別									
	事業等への参加			市政への意見反映						
企画や運営	準備・当日手伝い	参加者・発表者	子どもによる評価	アンケート等	意見募集用紙等	ワークショップ等	その他	子ども参加の取組の概要(趣旨、目的など)		
1 子ども広報モニター									広報さっぽろの誌面づくりに子供の意見を取り入れるため、2カ月に一度、誌面の内容・デザインなどについてアンケート調査を実施。また、年に1回、意見交換を行う「モニター会議」を実施。	市長政策室
2 札幌・ポートランド姉妹都市提携50周年記念小学生絵画展									姉妹都市提携50周年を記念して、両市の小学生が自分たちの街や生活の様子を紹介した絵画展を、それぞれの市長団・市民団の訪問時に開催した。	総務局
3 高校生向け講座「資料で見る札幌」								古地図、写真、文献等の資料をもとに札幌の歴史を学ぶ。 札幌の歴史に興味を持ってもらおうと共に、その後の利用促進につなげる。	総務局	
4 平和こどものつどい								長崎のインターネットシステム会議により、市内児童生徒が長崎市の被爆者から被爆体験を聞き、意見交換するほか、学校での平和に関する学習を発表する事業。 被爆者から実際の被爆体験を聞き、意見交換をしたり、自ら学んだ平和に関する学習を発表することで、平和の尊さについてより深く考えてもらう。	市民まちづくり局	
5 まちづくりセンタースタンプラリー								子どものまちづくり参加のきっかけとするとともに、まちづくりセンターのPRを図るため、平成21年7月27日～8月18日の期間中、まちづくりセンター2か所をめぐるスタンプラリーを実施。	市民まちづくり局	
6 「中学生の税についての作文」募集事業								青少年層に対し正しい税知識の浸透と普及を図り、税に関する理解者・協力者を醸成する目的で、中学生に対して税についての作文を募集する。	財政局	
7 親子で参加！福祉体験教室								児童の福祉に対する意識の啓発を図るとともに、ボランティア活動に取り組むきっかけづくりを行うために、親子で参加できる講座を実施した。	保健福祉局	

事業名	子どもの参加							担当局・区	
	種別								
	事業等への参加			市政への意見反映					
企画や運営	準備・当日手伝い	参加者・発表者	子どもによる評価	アンケート等	意見募集用紙等	ワークショップ等	その他		
8 障がい者との交流体験企画～元気ショップ関連事業～								子ども等を対象に、障がいに対する理解を促進していくため、夏・冬休みに障がいのある方との交流機会を次のとおり提供。 元気ショップ店員体験（雇用されている障がい者店員との交流） 装飾品づくり体験（施設等で作業をする障がい者との交流） ばんづくり体験（親子で施設等において作業をする障がい者との交流）	保健福祉局
9 子ども未来プラン策定に伴う子ども向けパブリックコメント								子ども未来プランのパブリックコメントを実施するにあたり、通常の資料とは別に子ども向けの資料を作成し、子どもの意見募集を行う。	子ども未来局
10 中高生フェスティバル								中・高校生が企画・運営する、中・高校生のためのお祭り。 中・高校生の児童会館利用促進、並びに居場所作りから主体的活動への展開を目的として実施。	子ども未来局
11 さっぽろ夢大陸「大志塾」事業								青少年の健全育成を推進するため、子ども自身が「やりたいこと・やってみたいこと」を考え、その活動に必要な調査や準備などを行い、お互いに相談・協力しながら、手作りで型にはまらない体験活動として、子どもの意見を主体にした事業として実施している。	子ども未来局
12 子ども議会								未来を担う子どもたちが札幌のまちづくりについて考え、提案する場として「子ども議会」を開催。 市政への参加体験の場であると同時に、市政参加の体現の場として実施している。	子ども未来局
13 子どもの権利委員会								札幌市における子どもに関わる施策を子どもの権利の保障の観点から調査、審議するために、平成21年11月に設置した附属機関に、高校生3人が参加している。	子ども未来局

事業名	子どもの参加							担当局・区		
	種別									
	事業等への参加			市政への意見反映						
企画や運営	準備・当日手伝い	参加者・発表者	子どもによる評価	アンケート等	意見募集用紙等	ワークショップ等	その他	子ども参加の取組の概要(趣旨、目的など)		
14	札幌市リサイクルプラザ (エコキッズスクール)								子ども向けの、ごみゼロ環境教育プログラム(紙芝居・分別ゲーム・買い物ゲーム等)を企画し、保育園・幼稚園・小学校等への講座を公募し、開催(来館・出前)する。 ごみ減量・リサイクルの情報を市民にわかりやすく提供することを目的とする。	環境局
15	さっぽろこども環境コンテスト2009								小中学生が行っている環境保全活動を発表し、優秀な取組を表彰することで、周囲の子どもたちや大人たちへ活動の輪を広げることを目的として開催。	環境局
16	藻岩どんぐり公園の整備							藻岩どんぐり公園の再整備工事にあたり、工事期間中に児童会館などの子ども達を集めて工事現場見学会を実施。 完成後の利用者である子ども(主に小学生)を対象に実施。	環境局	
17	市内児童会館との園内畑作りと収穫							動物が毎日食べるエサとなるじゃがいもやにんじんを作り、野菜作りを通して命のつながりを学ぶもの。 命にはつながりがあり、一人(ひとつ)では生きてはいけないこと、周囲への思いやりが大事であることなどを学んでもらう。畑作り、動物園への野菜寄贈、動物のエサやり体験を通して、食べ物への関心を深める(食育)。	環境局	
18	札幌国際短編映画祭							映像産業振興を中心に、文化振興、国際交流、地域振興、映像教育等を目的として短編映画祭を開催。 <映像制作ワークショップ> 映像人材の裾野を広げるため、小中学生を対象に映像制作を体験するワークショップを開催。 <こども審査員> 映画祭への市民参加と映像教育の一環として、小学生を審査員とした審査会を開催。	経済局	
19	職人塾							若年者が職業訓練校から直接指導を受けながら技能労働への理解を深める職業体験実習。 若年者が技能労働への理解を深めることで、事業内職業訓練事業をPRするとともに、技能者を志す人材の確保を目指すもの。	経済局	

事業名	子どもの参加							担当局・区	
	種別								
	事業等への参加			市政への意見反映					
企画や運営	準備・当日手伝い	参加者・発表者	子どもによる評価	アンケート等	意見募集用紙等	ワークショップ等	その他		
20	おとどけアート							<p>小学校にアーティストを派遣し、短期間滞在させ、「アート体験」を子ども達に届ける事業。子ども達にアーティストと直接触れ合い、共に作品を制作する経験をさせることにより、子ども達の芸術的感性を育むことを目的とする。</p> <p>制作した作品のお披露目会を実施し、子ども達のみならず、地域の住民の方にも作品を見ていただいている。</p>	観光文化局
21	体験学習「縄文土器づくり」							<p>古代の人々の暮らしにふれてもらうことを目的とし、夏休み期間中に土器づくり体験を2日間、土器焼き体験を1日間実施。</p>	観光文化局
22	生きもの観察会							<p>住民参加で環境整備を行った河川について近隣小学校児童や地域住民を対象に生きもの観察会を行った。</p> <p>川に親しむ機会の提供。</p>	建設局
23	「札幌市冬のみちづくりプラン」の推進 (札幌ゆきだるマンプロジェクト)							<p>札幌市の雪対策について市民と行政がともに考え、ともに取り組む「協働」について理解の輪を広げ、具体的行動へとつなげていくため、路上駐車防止・排雪量抑制、2つの願いを込めた「ゆきだるマン」を作成する活動。</p> <p>市民向けのテレビアニメ放送、専用HP作成、公共施設へのポスター・リーフレット配布の他、子供向けに市内全小・中学校、児童会館・ミニ児童会館、図書館等こどもが多く集まる施設へのポスター・リーフレットを配布。</p> <p>企業や大人だけではなく、子どもも含め、幅広い市民が参加できるよう、ゆきだるまを作成する活動とした。</p>	建設局
24	「ウェルピアひかりの」イメージキャラクター作製委員会							<p>札幌圏都市計画事業東雁来第2土地区画整理事業「ウェルピアひかりの」において、イメージキャラクターを作製した。</p> <p>「ウェルピアひかりの」におけるイメージキャラクターの作製は、住民参加型で行うことによって地域への愛着を深めてもらうことや当事業に関心を持っていただくきっかけ作りを目的とした。絵の原案募集は、当事業地区に隣接している小中学校3校に依頼した。</p>	都市局

事業名	子どもの参加							担当局・区	
	種別								
	事業等への参加			市政への意見反映					
企画や運営	準備・当日手伝い	参加者・発表者	子どもによる評価	アンケート等	意見募集用紙等	ワークショップ等	その他		
25	札幌市営地下鉄ナゾキラリー「レイトン教授の挑戦状」							<p>子ども参加の取組の概要(趣旨、目的など)</p> <p>全国東宝系で21.12.19から公開される映画「レイトン教授と永遠の歌姫」とタイアップした、地下鉄駅を舞台としたクイズラリーを行なうもの。年齢制限は設けていないが、ゲームソフト「レイトン教授」シリーズでメインターゲットとされている小学生～中学生の参加を想定している。</p> <p>事業への参加を通じ、市営交通への理解を深めてもらう。</p>	交通局
26	地下鉄への乗車マナー教室							<p>地下鉄を利用することが多い学校へ出向き、マナー教室を開催。</p> <p>当該小学校の児童は地下鉄で通学することが多く、ホームなどで危険な場面があるとの意見が乗務員からあったことから、利用する際の危険な行為やマナーについての出前教室を実施した。</p>	交通局
27	夏休み親子水道施設見学会							<p>8月1日から7日までの「水の週間」に合わせて、水資源の有限性、水の貴重さ、水資源開発の重要性などについての認識と水道事業についての理解を深めてもらうことを目的に、水道水の作られる過程(ダムや浄水場)の見学会を実施した。</p>	水道局
28	少年消防クラブ(BFC)							<p>クラブ活動を通して地域の防火防災に関するより深い知識と経験を修得し、次世代の地域防火を担う人材育成を図る。</p> <p>子どもの頃から正しい防火防災の知識を身に付けて、実践的、応用的な学習を実施している。</p>	消防局
29	オープンキャンパス							<p>市内の大学、短大、高校生を対象に、普段は学業に専念し防災訓練等の経験が少ない学生や、就職活動の一環として、消防吏員の業務内容の理解を深めてもらうために実施した。</p>	消防局

事業名	子どもの参加							担当局・区		
	種別									
	事業等への参加			市政への意見反映						
企画や運営	準備・当日手伝い	参加者・発表者	子どもによる評価	アンケート等	意見募集用紙等	ワークショップ等	その他	子ども参加の取組の概要(趣旨、目的など)		
30	ふれあいコンサート								<p>地元地域の小学校・中学校・(将来的には高校)等に演奏発表の場を提供して、子どもたちの発表能力を育てる。</p> <p>概要 第1部(演奏) 北広島弦楽合奏団による演奏。「ブランデンブルグ協奏曲第5番」「おくりびとのテーマ」「崖の上のポニョ」ほか。 第2部(合唱) コール・ハミング、啓明中学校合唱部、幌西小学校合唱団による合唱。 第3部(フィナーレ) 出演者全員による合同演奏「日本の四季メドレー」</p>	中央区
31	子どもの安全を地域で守る地域安全マップづくり事業								<p>子どもたちが主体となり、地域の人たちと共に、子どもたち自身が、地域住民へインタビューなどを行なって、危険な場所を洗い出すことを通して、日常身近に潜む危険に対する子どもたちの注意力を高めるとともに、危険を未然に防ぐ方法や被害を最小限に抑える方法など、万が一の事態に対応できる判断力の養成や、子どもたちと地域住民とのコミュニケーションの促進も図って行く。</p>	北区
32	中学生のまちづくり入門講座(意見交換会)							<p>中学生がどのようにまちづくりにかわり、また、どのような活動ができるかを考え、行動するためのきっかけづくりとして、伏古本町まちづくりセンターにおいて、まちづくり活動について学ぶとともに札幌中学校生徒会役員と地区連合町内会会長、役員、青少年育成委員会会長との意見交換会を開催。</p>	東区	
33	子ども遊芽カーニバル							<p>白石区子ども会所属の子どもたちが自ら企画、運営し、ステージイベントやプラバン工作、出店などの催し物を企画する。</p> <p>子どもたちに自ら考え企画する機会を提供し、自主性、協調性を育むとともに、催し物を通じて主催者側の子どもたちと、来場者側の子どもたちが年齢、校区の枠を超えて交流することを目的とする。</p>	白石区	
34	子ども向け歴史資料集『あつべつワールド』制作							<p>厚別区の歴史を分かりやすく解説した歴史資料集を作成し、小学校などの施設に寄贈する。</p> <p>歴史資料集の企画・編集に大谷地東小学校児童が協力。厚別区内の全17の小学校の各代表児童が未来の厚別を描くためのアンケートに協力。</p>	厚別区	

事業名	子どもの参加								担当局・区	
	種別									
	事業等への参加				市政への意見反映					
	企画や運営	準備・当日手伝い	参加者・発表者	子どもによる評価	アンケート等	意見募集用紙等	ワークショップ等	その他		
35	第4回とよひらおもしろスノーパーク								<p>今年度については、(財)札幌市青少年女性活動協会(児童会館)、札幌大学、北海学園大学、北星学園大学に企画段階から協力を得て、より一層充実した競技内容を加え、子どもから大人まで楽しんで参加できる冬の交流スポーツイベントとして月寒公園坂下球場において開催。</p> <p>室内にこもりがちで運動不足ぎみな冬に、寒さを吹き飛ばし、冬の屋外でもいっきり雪とたわむれて楽しんでいただくことを目的とするもの。</p>	豊平区
36	あしりべつ川体験塾								<p>次代の担い手である小学生を対象に、自然の貴重さ、生命の尊さを実感できる体験型環境教育イベントを、清田区のシンボルの一つ「あしりべつ川」を活用して実施。</p> <p>子どもたちの環境教育・環境美化が目的。あしりべつ川での魚捕り体験・危険予知トレーニング・川原の清掃を実施。</p>	清田区
37	澄川あさひ台公園の再整備								<p>澄川あさひ台公園の再整備にあたりワークショップを実施した。また現地にて聞き取り調査を行い、利用している子どもから話を聞いて、設計にあたっての参考とした。</p>	南区
38	こども西区民会議事業								<p>子どもたちが様々なテーマや事業において、互いに連携・協力、情報共有し、子どもが主体となったまちづくり活動を行う推進母体として「こどもによるまちづくりを進める西区民会議」を設立。</p> <p>平成21年度こども西区民会議の活動テーマは、子どもや地域に身近なまちづくり活動として「環境問題」を取り上げ、わかりやすい情報の提供、環境活動への参加促進及び郷土愛の醸成を図るため、子どもたちが簡単に理解し楽しく遊べる環境ゲーム「さんかくやまベエかるた」を作成する。</p>	西区
39	子どものまちづくりへの参加促進事業(手稲タンケツツアー・子どもたちが手稲のまちの夢を語り合う意見交換会(ワークショップ))								<p>小学4年生の描いた「10年後の手稲のまち」でのアイデア作品受賞の子どもと親を対象とし、普段、暮らしていながら接することの少ないさまざまな場所やできごとに触れ、手稲のまちを体験し、感じ、再発見する「手稲タンケツツアー」と「意見交換会(ワークショップ)」を実施。</p> <p>今後を担う子どもたちの、まちづくりへの関心を高め、自治意識の醸成を図っていくことを目的とする。</p>	手稲区

	事業名	子どもの参加							担当局・区	
		種別				子ども参加の取組の概要(趣旨、目的など)				
		事業等への参加		市政への意見反映						
		企画や運営	準備・当日手伝い	参加者・発表者	子どもによる評価					アンケート等
40	第二次子どもの読書活動推進計画策定								第二次子どもの読書活動推進計画策定にあたり、子どもの声を反映するため、アンケート調査および市民会議（子どもチーム）を行った。	教育委員会
41	議場見学								議会に対する理解を深めるため、議場(傍聴席)で議会の仕組みや役割について説明している。	議会事務局

【様式2】子どもにわかりやすい情報発信の例

	事業名	趣旨・目的・内容 主な対象 表現等の工夫 提供方法等の工夫 その他の工夫	担当局・区
1	さっぽろ市キッズページの運営	各部局で作成している子ども向けページをまとめたリンク集。子どもに向けたわかりやすい市政情報の提供や、子どもの自主的な学習の支援のために開設。 小学校低学年～中学生程度 対象年齢に合わせてできるだけやさしい表現とするとともに、興味を引くようにイラストを多く使用している。 掲載内容をカテゴリに分類し、情報にたどりつきやすいようにしている。	市長政策室
2	子どもまちづくり手引書	子どもたちに地域のまちづくり体験を通じて、参加の楽しさを知ってもらうとともに、将来の地域活動の担い手を育成するため、子どもにわかりやすくまちづくりを伝える。 小学校3～6年生 小学校での授業に活用されることを目指し、6人の教諭で構成するワーキング会議から意見を伺いながら、3～6年生の教育課程の流れに合わせた表現・内容としている。 3～6年次の授業に継続活用してもらうため、市内小学校新3年生全員に配布。冊子をより効果的に活用してもらうため、教員向け使用の手引きも併せて作成。また、子どもがより楽しく学習できるよう、賞状、名刺、シール、市長への提言用紙等、付属ツールを充実させた。	市民まちづくり局
3	さっぽろのおサイフ作成	市民向け冊子「さっぽろのおサイフ」をはじめとするパンフレットや広報さっぽろ及びホームページ、さらには出前トークや出前講座などを活用して、市の財政状況をよりわかりやすく市民に伝える。 小学校高学年以上 子どもにも興味を持てるような内容となるよう努めている。	財政局
4	障がい者との交流体験企画～元気ショップ関連事業～	子ども等を対象に、障がいに対する理解を促進していくために企画した障がいのある方との交流機会の周知について、子どもにわかりやすい内容でチラシに掲載するよう努めた。 小学3～5年生とその保護者 イラストを多用し、また、文書表現もわかりやすい表現に努めた 広く周知するために報道機関へ情報提供（記事掲載内容に関し子どもの興味を引きそうな表現をお願い：「障がい者と働こう」）	保健福祉局
5	子ども未来プラン策定に伴う子ども向けパブリックコメント	小4～中3（ただし、それ以外の学年の子どもが意見を提出することも可能）プラン全体の中から子ども向けのものを抜粋した内容とする。また、小学4年生が無理なく読めるような漢字を使用する。 意見募集用紙を子どもが目にする機会を増やすため、市内の児童会館全館にパンフレットを配布予定。	子ども未来局
10	札幌市総合的環境副教材	総合的な時間や教科における環境教育を推進するために作成している、ごみや雪、水などに関する総合的な環境副読本。 市立の全小学生 児童の発達段階に合わせ、1・2年生用、3・4年生用、5・6年生用の3種類を、教員を中心としたワーキンググループにおいて作成を行っている。 市内の全小学生（新1，3，5年生）に毎年配布 授業や教科との連携を図るため、教員を中心としたワーキンググループによる修正を行っている。	環境局
12	札幌市中央卸売市場展示室	市場の仕組みと役割への理解を深めていただくために、一般市民等の市場施設見学を受け入れており、見学通路や案内、展示室を整備している。 一般市民 子どもから大人まで、広い年代を対象としているが、展示内容は小学生で理解できるレベルで製作している。 パソコンを使用したクイズ、構内運搬車の実物の展示（乗ったり、触ったりすることが可能）や、映像・音声を利用し、体感・体験できる展示としている。 施設は子どものみを対象としたものではないが、計画段階から子どもへの情報提供を念頭に置いて検討を行った。	経済局

	事業名	趣旨・目的・内容 主な対象 表現等の工夫 提供方法等の工夫 その他の工夫	担当局・区
15	札幌芸術の森広報誌「ルア」増刊号「ルア・プラス」の発行	札幌芸術の森で発行している「ルア」の小学生向け増刊号として、夏休み又は冬休みの札幌芸術の森でのアクティビティを提案し利用を促進するための広報誌「ルア・プラス」を作成。 札幌市内小学生 トピック、イラスト表現やルビなど、通常発行の紙面とは全く異なる表現で制作している。 市内小学校全生徒に配布されるように、校長会に依頼を行い、全生徒配布を可能としている。	観光文化局
16	北海道雪プロジェクトとの連携	市内小学校教員を中心とし、雪や冬の暮らしに関連した各期間が連携し、子どもたちへ雪や冬の暮らしについてより知ってもらうための活動をしている、北海道雪プロジェクトと連携した情報発信を実施子どもたちが自主的に学び、学校の授業等でも使用できるよう、HP「北海道雪たんけん館」や冊子「雪の学習プラン集」を作成している。（札幌市は情報提供。実際の作成作業は北海道雪プロジェクト事務局） 小学生	建設局
21	環境広場さっぽろ2009での公共建築における環境への取組の紹介。	環境広場さっぽろ2009に都市局建築部として参加して公共建築における環境への取組を紹介するパンフレットを作成。 小学生向け 簡潔で分かりやすい文章を心がけ、漢字にふりがなを付け低年齢でも読めるようにした。また、写真やイラストを多用し、興味をひくよう工夫に努めた。	都市局
22	水道局キッズページの運営	水道事業について子どもに対する理解を深めるため子ども専用ページを開設 概ね小学校3年生以上を想定 できるだけわかりやすい表現とし使用漢字も学年に応じたものを使用した。楽しみながら閲覧できるようにアニメーションを用いて作成した。	水道局
23	「消防のしごと」の作成	火災予防と消防に関する知識を深めるための冊子「消防のしごと」。 市内小学校4年生児童、特別支援学校小学部全児童、少年消防クラブ員。 写真、イラストを多用し、内容を伝わりやすくしている。また、全ての漢字にふりがなを付けている。 「教えて！ファイヤーマン（小学校に消防職員が出向き講師となる体験型授業）」事業実施の補助教材、事前学習教材となるよう、4月中に配布している。	消防局
24	インドア雪合戦大会の周知	区内の小学生がチーム対抗でインドア用の用具を使い雪合戦を行う「インドア雪合戦大会」開催の周知のためのポスターと参加者申込のためのチラシを作成。 小学生 漢字にはふりがなを付けた 学校、児童会館を主な配布先とした	中央区
25	こどもホームページ「きたーくのなぞ」	ホームページを通してわかりやすく地域のことを学ぶ場を提供。学校での授業や児童会館の行事としての利用など。 区内の小学生（4年生程度）。 小学校などにチラシやポスターの掲示、配布を依頼。 親しみを持ち、楽しみながら学べるようゲーム形式としたほか、モニター調査を行って子どもたちの意見を反映させた。	北区
26	東区子どもボランティア体験塾	将来、地域の担い手となる子どもたちにボランティア活動を体験してもらい、まちづくり活動への参加意識を醸成するための事業についての、募集チラシ、参加者への案内文、報告書の作成。 小4～小6までの子ども20人 案内文、報告書について、保護者用と参加者用の2種類を作成。参加者用は対象年齢に合わせた表現を用い、学年に応じた漢字を使用する。	東区
27	白石区子ども向けホームページ制作事業	将来の市民自治の担い手である子どもたちに、自ら知り、学ぶ機会を提供するため作成した、子ども向けホームページについて、より効果的に活用されることを目指して、掲載内容の拡充を図る。 閲覧対象を小学4年生以上と設定し、漢字や表現方法を分かりやすいものとする。北海道情報専門学校に協力を依頼し、市政等を学ぶゲームコンテンツを掲載する。	白石区
28	広報さっぽろ厚別区版の高校生記者	「広報さっぽろ12月号厚別区版」の特集記事の作成に啓成高校新聞局が参加 厚別区全世帯 高校新聞局での表現を使用	厚別区

	事業名	趣旨・目的・内容 主な対象 表現等の工夫 提供方法等の工夫 その他の工夫	担当局・区
29	地域連携事業 「げんき夏まつり」	親子と地域の様々な世代の人々との交流を深めるイベント「げんき夏まつり」のボランティア募集の周知(チラシ) 区内中学生、高校生 ボランティア募集ポスター・チラシ(事業説明など)は分かりやすい内容にした。	豊平区
30	子ども版清田区まちづくりビジョン2020	清田区設計図「まちづくりビジョン2020」の子どもへの普及促進のために、子ども向けに編集した冊子版・HP版と、HP「きよっちと清田区たんけん!」を作成。 区内小学校3年生～6年生。 簡易な文章、難しい漢字にふりがなをつける等を工夫。 総合学習等に役立てるため、毎年、区内小学3年生に配布。 制作にあたっては、区内小学校教諭による編集会議により内容を決定。まちづくりの他、清田区の自然や歴史を盛り込み、総合学習以外の教科でも利用できるよう編集。	清田区
31	育児体験支援 「赤ちゃんとおぼろ」	高校生等に乳幼児とのふれあいや、子育てに関する多様な体験の機会を提供する場として開催している育児体験支援「赤ちゃんとおぼろ」では、乳幼児と関わったことがない生徒が多いため、子どもと関わるときの基本的な心構え・安全面について・赤ちゃんの抱き方などの資料を作成。 高校生 対象年齢に合わせ、興味を引くようなカットをいれるなどできるだけ分かりやすい表現となるよう工夫した。	西区
32	野菜摂取強化月間パネル展	野菜摂取の必要性を啓発し、バランスの良い食生活の実践を促進させることを目的に、野菜に関するパネル、ポスター、配布資料を作成。 区民全般 住民に対し、より有効な情報発信をするため、街頭啓発を行い、住民に直接パネルの説明やリーフレットの配布等を行った。また、子どもも楽しめるよう、イラストや写真でわかりやすいパネルを作成し、クイズ等の展示も行った。	手稲区
33	「さっぽろっこ家庭読書の日」啓発リーフレットの配付	さっぽろっこ家庭読書の日について啓発を図るとともに子どもたちの読書への興味を高めるためのリーフレットを作成。 市内幼稚園・小学校に通う保護者向け 保護者向けではあるが、小学校高学年以上であれば自分で読んで理解できる内容とした。 各幼稚園、学校を通じて保護者へ配付した。 家庭読書の日についての啓発とともに、発達段階に応じた「おすすめの本」を掲載した。	教育委員会
34	「選挙ってなんだろう?」の配布	有権者になる以前から選挙に対する関心や理解を深めていただくため、中学3年生の公民授業用資料としてパンフレットを作成し、市内全中学校へ配布。 中学3年生 内容、表現、使用漢字等を対象年齢にあわせたものとした。 毎年の授業実施時期に合わせて、学校に配布している。 授業で活用しやすい内容等とするため、中学校教諭が編集委員となり作成した。	選挙管理委員会
35	「市議会のはなし(下敷き)」の配布	議会について理解を深めるため、議会の概要を載せた下敷きを作成し、議場見学に来た子どもに配布している。 小学生 できるだけやさしい表現とし、漢字にはフリガナをつけている。	議会事務局